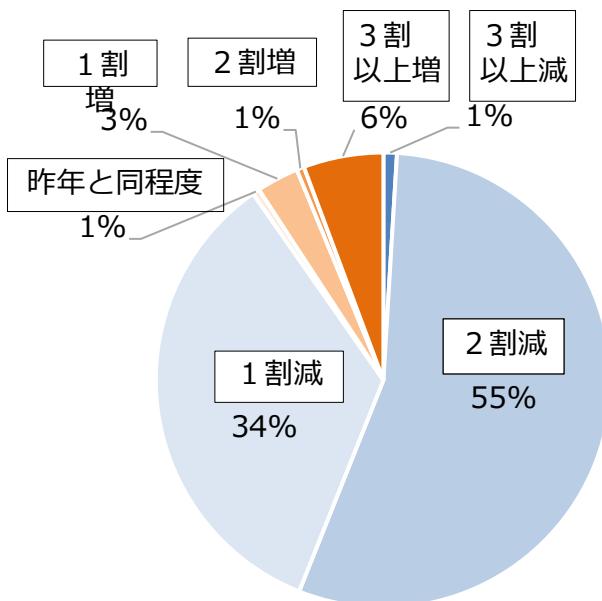


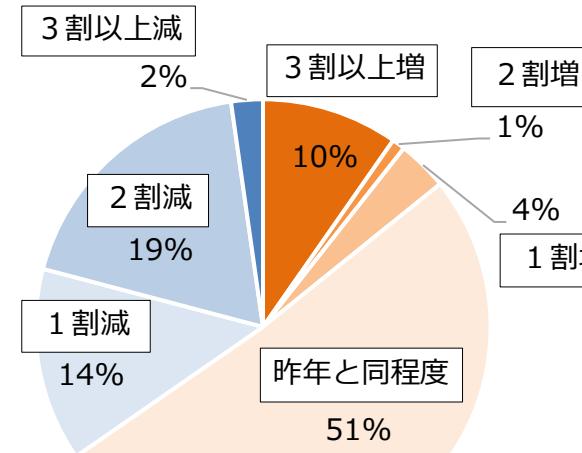
お茶の消費動向

- 茶の卸・小売事業者等に対し、令和6年12月末時点の荒茶在庫量及び令和7年産の荒茶仕入れ見込みについて調査及び聞き取りを実施。
- 回答のあった事業者の荒茶在庫量は、昨年同期比で「減少」が9割、「増加」が1割。
- 海外を中心に需要の高まっている抹茶の原料となるてん茶の引き合いは強いものの、普通煎茶を主体とする一番茶の荒茶仕入れ見込量は「昨年と同程度」が5割、昨年より「増加」が2割弱、「減少」が4割弱。
- また、一番茶以外（二番茶以降）の荒茶仕入れ見込量は昨年より「増加」が8割弱、「昨年と同程度」が2割弱。

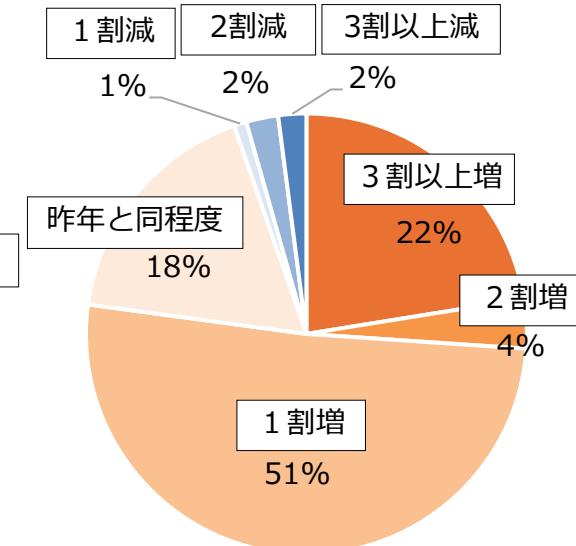
○令和6年12月末時点の荒茶在庫量
(令和5年12月末時点との比較)



○令和7年産一番茶の
荒茶仕入れ見込量
(令和6年産との比較)



○令和7年産一番茶以外の
荒茶仕入れ見込量
(令和6年産との比較)



※ 集計に当たっては、各回答があった事業者の数を単純にカウントするのではなく、各事業者の在庫量又は仕入れ量により重みづけを行った。具体的には、

・在庫量調査においては、「3割以上減」、「2割減」等の各回答階級毎に当該回答をした事業者の令和6年12月末時点の荒茶在庫量を合計し、全体の在庫量に対する割合を算出
・仕入れ見込み調査においては、「3割以上増」、「昨年と同程度」等の各回答階級毎に当該回答をした事業者の令和6年の荒茶仕入れ量を合計し、全体の仕入れ量に対する割合を算出

資料：農林水産省農産局果樹・茶グループ調べ。全国茶商工業協同組合連合会、全国茶生産団体連合会等を通じた事業者へのアンケート調査結果から、

有効回答（在庫量：53件、仕入見込量：52件（一番茶）、50件（一番茶以外））を集計。回答者の荒茶仕入量の合計は、R6年の荒茶生産量の約57%。